



2020年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月14日

上場会社名 株式会社 自重堂

上場取引所 東

コード番号 3597 URL <https://www.jichodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出原 正信

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部本部長 (氏名) 富山 英朗

TEL 0847-51-8111

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	9,409	2.1	1,125	23.3	1,410	11.4	958	14.3
2019年6月期第2四半期	9,611	15.5	1,467	0.3	1,593	10.2	1,118	11.9

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 1,002百万円 (32.0%) 2019年6月期第2四半期 759百万円 (52.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	332.50	
2019年6月期第2四半期	387.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	38,083	31,625	83.0
2019年6月期	38,881	31,488	81.0

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 31,625百万円 2019年6月期 31,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		300.00	300.00
2020年6月期		0.00			
2020年6月期(予想)				300.00	300.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,300	5.5	2,100	17.6	2,400	12.5	1,700	8.2	589.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期2Q	3,230,701 株	2019年6月期	3,230,701 株
期末自己株式数	2020年6月期2Q	347,683 株	2019年6月期	347,642 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期2Q	2,883,030 株	2019年6月期2Q	2,883,105 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2019年9月末までは、雇用・所得環境の継続的な改善などにより、景気は堅調に推移しておりましたが、2019年10月からは、消費税率のアップや、暖冬の影響により、消費活動は低迷しており、国内景気は厳しい状況にあります。また、長期化する米中貿易摩擦、中東や朝鮮半島情勢の緊迫化などの影響もあり、世界経済も勢いを欠き、製造業を中心として輸出関連分野等も厳しい状況が見受けられません。先行きにつきましても、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、経済活動への悪影響が懸念され、国内外ともに景気はより一層厳しくなるものと予想されます。

このような状況のもと当社グループにおきましては、ワーキング事業においては、欠品・納期遅れにより代理店・ユーザーの皆様にご迷惑をお掛けすることのないよう、「揃う自重堂」として、戦略的に積み増した豊富な在庫を武器に、積極的な営業活動を展開し、売上・利益の拡大に努めてまいりました。主力ブランド「JICHODO (ジチョウドウ)」においては、ストレッチ性などユーザーが求める高機能商品の開発に注力し、市場に投入することで需要の喚起を図ってまいりました。元メジャーリーガー新庄剛志氏をイメージキャラクターにしている次世代戦略ブランド「Jawin (ジャウイン)」においては、カジュアルテイストな「かっこいい」新商品を市場に投入するとともに販促キャンペーンを実施しました。俳優の市原隼人氏をイメージキャラクターにしている世界戦略ブランド「Z-DRAGON (ジードラゴン)」においては、ストレッチ性や製品制電、フルハーネス着用に対応した商品など機能性を重視しつつ、「かっこいい」新商品を展開し、売上・利益の拡大と、ブランド知名度の向上に努めてまいりました。また、広告宣伝活動においては、従来の雑誌広告・交通広告などに加え、SNS等での露出拡大にも注力してまいりました。フットウェア分野においては、「Z-DRAGON (ジードラゴン)」ブランドの商品展開を強化し、イメージキャラクターである俳優の市原隼人氏のビジュアルを有効に活用することで販売促進に注力してまいりました。医療用白衣・介護ウェア分野においては、販売力の一層の強化を図るため、既存取引先との取組み強化に努めてまいりました。メンズカジュアル事業においては、大手量販店との取組み強化に注力し、売上・利益の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、春夏商戦は電動ファン付ウェアの「空調服」を中心に順調に売上を伸ばしたものの、秋冬商戦においては、暖冬の影響により秋冬商品の売上が伸び悩んだことや、消費税率アップによる消費マインドの冷え込みなどの影響により、売上高は9,409百万円（前年同四半期比2.1%減）と若干前年同四半期を下回る結果となりました。営業利益については、「揃う自重堂」として、戦略的に在庫を積み増したことに伴い物流費が増加したことなどによる販売費及び一般管理費の上昇により、1,125百万円（前年同四半期比23.3%減）となりました。経常利益は、営業利益の減少などにより1,410百万円（前年同四半期比11.4%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益958百万円（前年同四半期比14.3%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントに該当するため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ797百万円減少し、38,083百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ725百万円減少し、27,993百万円となりました。これは主に、商品及び製品が1,369百万円増加したことと、現金及び預金が155百万円、受取手形及び売掛金が964百万円、原材料及び貯蔵品が573百万円、流動資産その他が405百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ72百万円減少し、10,089百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ921百万円減少し、5,229百万円となりました。これは主に、短期借入金が1,540百万円増加したことと、支払手形及び買掛金が2,274百万円、賞与引当金が114百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ13百万円減少し、1,227百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ137百万円増加し、31,625百万円となりました。これは主に、利益剰余金が93百万円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の四半期末残高は、前連結会計年度より155百万円減少し、1,787百万円(前連結会計年度比8.0%減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は980百万円(前年同期は944百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,410百万円、売上債権の減少964百万円等による増加と、賞与引当金の減少114百万円、たな卸資産の増加795百万円、仕入債務の減少2,274百万円、法人税等の支払額474百万円等による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は151百万円(前年同期は619百万円の使用)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入293百万円等による増加によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は672百万円(前年同期は868百万円の使用)となりました。これは主に、短期借入金の純増減額1,540百万円等による増加と、配当金の支払額865百万円等による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、消費税率アップによる消費マインドの冷え込みや、暖冬の影響により秋冬商品の売上が伸び悩んでいることに加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によって、中国における生産活動や、日本国内の消費や経済活動に悪影響を及ぼすことが懸念され、先行きの不透明感が高まっていることから、修正いたしました。利益面におきましては、代理店・ユーザーの皆様からのご注文に即座に対応するために、戦略的に在庫を積み増したことにより一時的に物流費が増加することが見込まれます。以上のような要因により、通期連結業績予想につきましては、売上高は18,300百万円、営業利益は2,100百万円、経常利益は2,400百万円、親会社株主に係る当期純利益は1,700百万円に修正いたします。本日別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご確認ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,959,358	1,804,263
受取手形及び売掛金	5,687,979	4,723,612
商品及び製品	16,130,558	17,500,470
仕掛品	4,461	3,486
原材料及び貯蔵品	3,662,094	3,088,274
その他	1,281,647	876,262
貸倒引当金	△6,247	△2,387
流動資産合計	28,719,853	27,993,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	1,598,083	1,552,847
土地	4,421,844	4,441,853
その他 (純額)	139,374	132,278
有形固定資産合計	6,159,302	6,126,979
無形固定資産	132,183	111,912
投資その他の資産		
投資有価証券	2,418,058	2,354,881
関係会社出資金	130,225	115,822
繰延税金資産	139,286	61,034
その他	1,235,452	1,371,069
貸倒引当金	△53,282	△52,534
投資その他の資産合計	3,869,739	3,850,273
固定資産合計	10,161,225	10,089,166
資産合計	38,881,078	38,083,149

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,975,462	2,700,620
未払金	310,347	313,993
未払法人税等	490,993	432,640
返品調整引当金	62,245	50,154
賞与引当金	136,419	21,932
短期借入金	—	1,540,000
その他	176,243	170,425
流動負債合計	6,151,713	5,229,767
固定負債		
退職給付に係る負債	570,308	575,480
その他	670,974	652,269
固定負債合計	1,241,282	1,227,750
負債合計	7,392,996	6,457,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,828,530	1,828,530
利益剰余金	27,612,023	27,705,722
自己株式	△1,716,764	△1,717,059
株主資本合計	30,706,288	30,799,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	770,924	826,285
為替換算調整勘定	△19	△8,045
退職給付に係る調整累計額	10,889	7,698
その他の包括利益累計額合計	781,794	825,939
純資産合計	31,488,082	31,625,632
負債純資産合計	38,881,078	38,083,149

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	9,611,674	9,409,808
売上原価	6,490,879	6,535,190
売上総利益	3,120,795	2,874,618
販売費及び一般管理費	1,653,451	1,749,302
営業利益	1,467,344	1,125,316
営業外収益		
受取利息及び配当金	36,832	35,706
為替差益	44,404	16,099
有価証券売却益	10,086	150,518
受取賃貸料	31,442	40,044
デリバティブ評価益	—	30,852
その他	34,457	38,538
営業外収益合計	157,222	311,760
営業外費用		
支払利息	—	1,531
賃貸収入原価	18,157	18,210
デリバティブ評価損	13,044	—
その他	341	6,377
営業外費用合計	31,543	26,119
経常利益	1,593,023	1,410,956
特別損失		
固定資産除売却損	7,896	0
特別損失合計	7,896	0
税金等調整前四半期純利益	1,585,127	1,410,956
法人税、住民税及び事業税	446,892	396,938
法人税等調整額	19,619	55,400
法人税等合計	466,511	452,339
四半期純利益	1,118,615	958,617
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,118,615	958,617

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,118,615	958,617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△355,851	55,360
為替換算調整勘定	—	△8,025
退職給付に係る調整額	△3,190	△3,190
その他の包括利益合計	△359,042	44,144
四半期包括利益	759,572	1,002,762
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	759,572	1,002,762

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,585,127	1,410,956
減価償却費	65,120	64,284
のれん償却額	15,310	15,310
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,261	△4,607
賞与引当金の増減額(△は減少)	△104,951	△114,487
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△4,198	△12,091
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,658	582
受取利息及び受取配当金	△36,832	△35,706
支払利息	—	1,531
デリバティブ評価損益(△は益)	13,044	△30,852
売上債権の増減額(△は増加)	388,284	964,366
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,639,302	△795,117
仕入債務の増減額(△は減少)	241,653	△2,274,842
その他	△193,128	271,956
小計	△663,477	△538,717
利息及び配当金の受取額	36,832	35,162
利息の支払額	—	△1,531
法人税等の支払額	△317,433	△474,964
営業活動によるキャッシュ・フロー	△944,077	△980,050
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,480	△2,480
定期預金の払戻による収入	2,480	2,480
有形固定資産の取得による支出	△389,117	△26,554
関係会社出資金の払込による支出	△131,440	—
投資有価証券の売却による収入	11,532	293,171
その他	△110,299	△114,767
投資活動によるキャッシュ・フロー	△619,323	151,849
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,540,000
自己株式の取得による支出	△422	△294
配当金の支払額	△864,973	△865,069
リース債務の返済による支出	△3,168	△1,916
財務活動によるキャッシュ・フロー	△868,564	672,720
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,468	386
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,418,498	△155,094
現金及び現金同等物の期首残高	7,393,755	1,942,679
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,975,256	1,787,584

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年12月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年12月31日)

当社グループは、衣料品製造販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。